

3年 国語科学習指導案

1 単元名 物語の感想をまとめよう

2 教材名 ちいちゃんのかげおくり

3 指導の立場

(1)教材観

本教材は児童が初めて出会う戦争作品である。「戦争」は、児童にとって自分たちの生活から遠くかけ離れた過去の出来事である。一方、「平和」なくらしは、現在から未来にいたるまで当たり前が続くことと思っている。本教材を通して児童は、戦争の中の家族との生活、命について、主人公「ちいちゃん」の目を通して見つめることになる。さらに、「戦争」や「平和な生活」について自分自身の目で客観的に見つめ、自分なりの思いをもつことになる。

本単元では、児童が作品を読んで感じたことや考えたことを文章に書き、「物語の感想としてまとめる」ことをねらいとしている。そのために、授業を展開するにあたって、次のような点を大切に指導する。

場面と場面のつながりや場面の役割に気をつけて読むこと。

細かい言葉の表現の違いに気をつけながら読むこと。

理由を明確にした感想をもつこと。

第1場面と第4場面の二つの「かげおくり」を比較したり、その間に起こったことを整理して書き出したりすることや、物語の中に多く出てくる様子や心情を表す言葉について表現の違いを話し合うことによって戦争の悲惨さを感じ取り、人物の気持ちを豊かに想像できるようにしたい。

「物語の感想をまとめる」ために、毎時間、自分が心を打たれた文を引用して手紙を書き、発表する言語活動を取り入れる。自分を取り巻く現実や経験と照らし合わせて物語の世界を具体的に感じ取り、当たり前になっているくらしを見つめ直し、平和に対する思いをまとめることができるようにしたい。

(2)児童の実態

6月の教材「海をかつとばせ」では、登場人物に着目し、自分と比べながら読んで感じたことや考えたことをまとめる学習をした。場面ごとに登場人物の気持ちを読み取る際には、行動や会話には青、気持ちを表す文や語句に赤のサイドラインを引いてワークシートに自分の考えを書いてきた。交流する場では、自分の考えと比べながら話し合うことで、友達の感じ方と自分の感じ方に違いがあることに約9割の児童が気付くことができた。毎時間の学習のまとめでは、主人公と自分を比べながら感想を書くことで、自分を振り返るとともに、これからの自分の生き方を考えようとする姿は約8割の児童に見られるようになってきた。そして単元の終わりには、書き溜めた感想をもとに登場人物の立場で手紙や日記を書くことで、登場人物と自分を重ね合わせながらその気持ちの変化や願いをまとめていくことができた。

本教材の主人公は、幼いちいちゃんである。戦争によって家族が引き裂かれ、尊い命を落としてしまうという悲しい結末となっている。これまでの学習と違って、子どもたちにはその世界を想像したり、人物の気持ちを自分と重ね合わせたりして捉えることはなかなか難しい。しかし、それぞれの場面で描かれる出来事、情景はどれも児童の心を動かすだろう。

本単元では、場面の移り変わりに着目して読んでいく。場面の状況を掴みやすいように挿絵や空襲の写真などを提示したり、サイレンの音を聞かせたりして臨場感をもって読むことができるようにしたい。また、場面に合った音読の仕方を工夫したり、会話や情景描写の細やかな表現にも気付かせたりすることで、様子を想像し、その状況に置かれたちいちゃんの気持ちを読み取っていくようにしたい。

毎時間のまとめでは、自分が心を打たれた文を引用して「ちいちゃんへの手紙」を書いて伝え合うようにする。刻々と悲劇に向かうちいちゃんへの思いを書きため、交流することで「平和」であることの素晴らしさに気付くことができるようにしたい。

4 指導観...研究テーマに関わって

(1) 言語活動の充実を図った単元指導計画

言語活動を明確にし、単元を貫く課題を位置付ける単元指導計画

- ・「物語の感想をまとめよう」という単元のためを確認し、第1時で初発の感想を書く。第2時では、その感想を生かしながら第1場面と第4場面を読み比べ、ちいちゃんの様子や心情に変化があることに気付かせる。そして「二つのかげおくり」の間にはどんな出来事があったのかという疑問から、「場面の移り変わりを捉え、人物の気持ちを読み取っていこう」とする課題をもたせる。また、ちいちゃんへの思いを生かすために、「毎時間の終わりにちいちゃんへの手紙を書く」とこと、「全校群読発表会で、心を打たれた場面を、自分の感想を伝えながら読もう」という課題を設定する。

ねらいや目的に応じた言語活動の充実

- ・第2次では、各場面に起こった出来事を捉えながらちいちゃんの気持ちを想像し、話し合っ読み深めていく。毎時間の終わりには、心を打たれた言葉や文を引用してちいちゃんへの手紙を書き、音読を含めて発表をするという言語活動を取り入れる。そうすることで、戦争によって悲しい結末へと向かう場面の変化やちいちゃんの気持ちについて読み取ったことを、自分の思いを入れて伝えやすくすると考えるからである。
- ・単元の出口では、学級で交流し合った感想をもとに全校群読発表会で「ちいちゃんのかげおくり」を発表する。戦争の時代に短い命を燃やしたちいちゃんに呼びかけるという設定で、心を打たれた所と感想を全校に向けて発表する。
- ・感想をまとめる時には、中学年の指導事項である「書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。」を大切にまとめてみる。一番心を打たれた場面の言葉や文を中心に、学級の友達や全校に、戦争の悲惨さや平和への思いを伝えることを目的として、組み立てを考えて書いていく。

(2) 学び合いを通して、読みや表現を深める授業の在り方

根拠をはっきりさせ、自分の考えをもつための指導・援助の工夫

- ・人物の心情を叙述に沿って想像するために、心を打たれた言葉や文にサイドラインを引き、そこから自分の考えを書き込むことができるようにする。
- ・戦争の時代の状況を掴みやすくするために、難語句を辞書で調べさせるとともに、教師が絵や写真などを準備して補足説明するようにする。
- ・言葉が表している様子に着目させるためにワークシートに考えるポイントを示したり、人物の気持ちが理解できずに立ち止まっている子にヒントカードを準備したりする。

仲間との学び合いの場と方法の工夫

- ・人物の気持ちについて焦点化して話し合うことができるように、場面の情景を表す挿絵と関わらせながら課題をつくる。そうすることで、考えを交流する場で、言葉や文と絵をつなぎながら話し合うことができると考える。
- ・根拠を基に話し合うことができるように、「 の文から～と思いました。それは、～だからです。」などの話形を示して話すことができるようにする。根拠となることは、読書を含めたこれまでの生活経験や前時までの読み取りを生かすように指導する。
- ・細やかな表現に着目させて話し合わせることによって、本文には書かれていない人物の気持ちや場面の情景を丁寧に読み取ることができるようにする。
- ・人物の心情を話し合っ読み深めるために、本時のねらいに迫ることができる深めの発問を位置付ける。本時は「空の上から見るちいちゃんの気持ち」を課題としたので、ちいちゃんがいない第5場面を書いた「作者の思い」を問うことで本時のねらいにせまることができるようにする。

付けたい力を自覚させ、次時への意欲を高める評価活動の工夫

毎時間、学習を振り返り、学習感想をプリントに書く振り返りの場をもち、学習の仕方の定着を図る。

付けたい力に関わる自己評価として、次の観点で毎時間の学習を振り返る。

- ・ちいちゃんの様子や気持ちを考えることができたか。
 - ・心を打つ言葉を入れて、ちいちゃんへの手紙を書くことができたか。
- また毎時間の話し合いで、友達のよいと思った考えを一文に書く。それを教師が認めて広めることで、読みの力を伸ばすとともに、次時への意欲を高めることができるようにする。

5 本時のねらい

時を経た、ちいちゃんがいなくなった公園の場面を書いた作者の思いを、公園で遊ぶ子ども達を空から見つめるちいちゃんの気持ちを想像して話し合うことを通して、戦争は多くの大切なものをうばうことに気付き、平和な生活を見つめ直し大切にしてほしいと捉え、「戦争」「平和」「命」のキーワードを使ってまとめることができる。

6 本時の展開 (7 / 12)

	学習活動	指導・援助・評価 評価規準
つかむ	<p>1 「それから何十年。」の文から、第5場面が現在の様子であることを捉えられるようにする。</p> <p>2 本場面の挿絵から、場面の様子をつかみ、課題をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園で子どもたちが遊んでいる。楽しそうな様子だ。 でもちいちゃんはいない。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>楽しそうに遊んでいる子どもたちを、ちいちゃんも空の上から見ていたら、どんな気持ちかを読み取り、ちいちゃんに手紙を書こう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「それから」に着目し、ちいちゃんの命がなくなってから、長い時を経た場面であると捉えられるようにする。 作者の思いが直接的に問われることに抵抗感をもつ児童もいると思われる。第4場面の終わりに「小さな女の子の命が空にきえました。」とあるところから、空に消えていったちいちゃんの気持ちを考えるという課題を設定する。 第4場面と第5場面をワークシートに整理して書き込むことで場面の移り変わりを捉えるとともに、戦争の時代と平和な今を対比して考えることができるようにする。
考える	<p>3 第5場面を音読し、ちいちゃんがいいた時代と比べながら内容をとらえる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">第5場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争が終わって何十年も経っている。 ちいちゃんも公園 子どもたち いそいそと遊んでいる きらきら笑って声を上げて </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">↔</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p style="text-align: center;">第4場面</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争中 ちいちゃん一人だけが遊ぶ場所 ちいちゃん がぶくりにして遊ぶ きらきらと笑って </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの場面の様子やちいちゃんの気持ちを根拠にして話すことができるように、「私はの時~だったよ。今あなた達は~なんだね。~と思うよ。」などの例を示すことで、ちいちゃんの言葉を今の自分達を取り巻く現実や経験と比べながら書くことができるようにする。 「さんと同じところに感想をもった人はいますか。」などと問かけ、友達との感じ方と自分の感じ方の違いを意識しながら感想を交流できるようにする。
深める	<p>4 第1場面から第4場面までを振り返りながら、公園の子どもたちに話しかけるちいちゃんの言葉を想像して書き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空襲で逃げたときは、お兄ちゃんやお母さんと離れてしまってこわかったよ。みんなはそんなこわい思いをしなくていいなあ。 一人で防空壕の中で眠っていた時、お母さんやお兄ちゃんに会いたくて悲しかった。みんなは家族と一緒にいて寂しくないよね。 空から聞こえるおとうさんやおかあさん、お兄ちゃんと「かげおくり」をして、やっと会えたのでうれしかった。やっぱり家族みんながいると本当にうれしい。みんなもそうだよね。 私は小さいままで死んでしまったけれども、みんなは元気で、家族と一緒に楽しく暮らしているね。命を大切にしてくれ。 戦争は悲しいよ。平和がいいな。平和な生活を大切にしてくれ。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【深めの発問】</p> <p>作者は、ちいちゃんがいなくなった5場面を、どんな思いで書いたのだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 今は戦争がなくてよいと思うだけでなく、平和な今を大切に、二度と戦争が起こらないようにしていきたい。 戦争の中でたくさん子どもたちも死んでいった。そのことを忘れずにしてほしい。 命は大切なもの。家族と一緒に暮らせる幸せが続いて、小さな子どもたちが大きく育ってほしい。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「読むこと」(1)ウ</p> <p>時を経た、ちいちゃんがいなくなった公園の場面を書いた作者の思いを、公園で遊ぶ子ども達を空から見つめるちいちゃんの気持ちを想像して話し合うことを通して、戦争は多くの大切なものをうばうことに気付き、平和な生活を見つめ直し大切にしてほしいと捉え、「戦争」「平和」「命」のキーワードを使ってまとめようとしている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 「ちいちゃんのかげおくり」について書いたあまみきみこさんの言葉を提示して、その思いを伝える。
まとめる	<p>5 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>戦争は、大切な命や幸せな生活をなくしてしまうもの。平和な今の幸せな生活を大切にしていってほしい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「戦争」「平和」「命」をキーワードとして手紙を書いてまとめるようにする。
つなげる	<p>6 ちいちゃんへの手紙を書く。</p> <p>空にいるちいちゃんやお兄ちゃん。戦争で家族や命などをなくして悲しかったね。私たちは平和だと思っていた世界にはまた戦争があります。これから、命と平和を大切に、戦争のない世界になるようにしていきたいと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ちいちゃんの様子や気持ちを読み取ることができたか、キーワードを入れて、ちいちゃんへの手紙を書くことができたか、の観点で振り返りをする。
	<p>7 学習の振り返りをする。</p>	

3年生 物語の感想をまとめよう 「ちいちゃんのかげおくり」

単元目標

場面の移り変わりに注意しながら読み、人物の行動、情景、会話などの表現に着目して読むことができる。

読(1)ウ・エ・オ

細かい点に注意しながら読み、場面をまとめたり、文を引用したりして感想を書くことができる。

書(1)ウ

・感想の内容や書き方を比較し、考えの明確さなどについて意見を伝え合うことができる。

書(1)カ

単元指導計画(全12時間)

次	時	ねらい	学習活動	指導援助および評価基準
一	1	題名や挿絵などから「ちいちゃんのかげおくり」という題材に興味をもち、「物語の感想をまとめる」という学習の見通しをもつことができる。	題名や挿絵などから話の内容を想像する。 学習課題をつくる。 「ちいちゃんのかげおくり」を読んで心に残ったことを感想文に書こう。 全文を読んで心に残ったことを書く。 感想を交流する。 学習のまとめをする。	・戦争中の様子が分かる絵や資料を準備し、戦争時の生活に関心をもつことができるようにする。 ・かげおくりを体験させることで、楽しい遊びであることをわかるようにする。 【関】内容を捉え、心に残ったところについて感想をもっている。
	2	2つの「かげおくり」比べる活動を通して、その間にどんな出来事があったのか、読み深めていくための課題を立てることができる。	2つの場面の挿絵から、場面の様子を捉える。 学習課題をつくる。 2つのかげおくりのおなじところとちがうところを見つけよう。 第1場面と第4場面を比べながら読み、ワークシートにまとめ、話し合う。 学習のまとめをし、単元をつらぬく課題を設定する。	・2つの場面を比べやすいように、ワークシートを工夫する。 ・児童の実態に応じ、「いつ」「どこで」「だれと」といった比べる視点を与える。 【関】2つのかげおくりの違いを見つけ、発表会への意欲をもっている。
場面の移り変わりを捉えてちいちゃんの気持ちを読み取り、1番心を打たれたところを入れながらちいちゃんへの手紙を書き、自分の感想を伝えよう。				
二	3	家族そろってかげおくりをするちいちゃんたち家族の様子や心情を、会話や動作を表す言葉に着目して読み取り、両親の不安な気持ちと、ちいちゃんたちの無邪気な気持ちを比べながら捉え、「記念写真」「いくさ」のキーワードを使ってまとめることができる。	場面の挿絵から、様子を捉える。 学習課題をつくる。 「かげおくり」をしている家族はどんな気持ちだろう。 第1場面を役割分担して音読する。 「かげおくり」をするちいちゃんたち家族の気持ちが分かるところにサイドラインを引き、気持ちを想像して書く。 全体で話し合う。 出征の前日にかげおくりをしたのはなぜだろう。 学習のまとめをする。 ちいちゃんへの手紙を書く。	・役割分担して読むことによって、誰の言葉かを確認できるようにする。 ・「体の弱いお父さんまで」や「今日の記念写真」から、両親の不安な気持ちや悲しい気持ちを読み取らせる。 ・「すごうい」や「ちいちゃんとお兄ちゃんは、」から、無邪気に遊ぶ二人の気持ちを読み取らせる。 【読】両親の不安な気持ちとちいちゃんたちの無邪気な気持ちを比べながら読み取り、「記念写真」「いくさ」のキーワードを使ってまとめている。

4	<p>空襲の夜の様子を叙述に沿って読み取り、ひとりぼっちになっていくちいちゃんの不安な気持ちを捉え、「さけびました」「ひとりぼっち」のキーワードを使ってまとめることができる。</p>	<p>挿絵から、場面の様子を捉える。 学習課題をつくる。</p> <p>ひとりぼっちになっていくちいちゃんはどんな気持ちだったろう。</p> <p>第2場面を音読する。 空襲の様子を想像する。 ちいちゃんの気持ちが分かるところにサイドラインを引き、気持ちを想像して読む。 全体で話し合う。 ちいちゃんが失ったものは何だろう。</p> <p>学習のまとめをする。 ちいちゃんへの手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 空襲の写真を見せたり、サイレンの音をきかせたりして臨場感を味わわせる。 「お母ちゃん、お母ちゃん。」「お母ちゃん」と叫ぶ後に続く言葉をそれぞれ考えさせ、ちいちゃんの心情の違いに気付かせる。 <p>【読】ちいちゃんの不安な気持ちを読み取り、「さけびました」「ひとりぼっち」のキーワードを使ってまとめている。</p>
5	<p>空襲の後の町の様子を叙述に沿って読み取り、お母ちゃんやお兄ちゃんの帰りを信じて待つちいちゃんの心細い気持ちを捉え、「きっと帰ってくる」「ひとりぼっち」のキーワードを使ってまとめることができる。</p>	<p>挿絵から、場面の様子を捉える。 学習課題をつくる。</p> <p>お母さんとお兄ちゃんを待つちいちゃんは、どんな気持ちだったろう。</p> <p>第3場面を音読する。 空襲の後の町の様子を想像する。 ちいちゃんの気持ちが分かるところにサイドラインを引き、気持ちを想像して読む。 ちいちゃんの気持ちについて、話し合う。 『お母ちゃんとお兄ちゃんは、きっと帰ってくるよ。』とは、誰が誰に言った言葉だろう。</p> <p>学習のまとめをする。 ちいちゃんへの手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防空壕や、雑嚢、ほしいいについての写真や絵などを補助資料として提示する。 「なくのをやっところえて」「深くうなずきました」「きっと帰ってくるよ」から、ちいちゃんがお母さんとお兄ちゃんが帰ってくることを強く信じていることを捉えさせる。 <p>【読】家族の帰りを信じて待つちいちゃんの気持ち読み取り、「きっと帰ってくる」「ひとりぼっち」のキーワードを使って感想をまとめている。</p>
6 3 年 2 組 本 時	<p>「かげおくり」をする二つの場面を読み比べる活動を通して、家族で遊んだかげおくりからひとりぼっちのかげおくりが変わっていったことや、次第に幻の中で家族と一緒にかげおくりをしていった様子に気づき、ちいちゃんの「やっ家族に会えた」という喜びと命が失われたという事実を捉え、「やっ会えた」「喜び」というキーワード使って、まとめることができる。</p>	<p>挿絵から、場面の様子を捉える。 学習課題をつくる。</p> <p>ひとりぼっちでかげおくりをするちいちゃんの気持ちを読み取り、ちいちゃんに手紙を書こう。</p> <p>第4場面を音読し、ちいちゃんの気持ちがわかるところにサイドラインを引き、気持ちを想像して読む。 家族と会えてきらきらわらいだしたちいちゃんは、本当に幸せだったのだろうか。</p> <p>学習のまとめをする。 ちいちゃんへの、手紙を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第1場面の家族みんなでする「かげおくり」の挿絵と比べさせる。 「たったひとつのかげぼうし」から、ちいちゃんが一人でかげおくりをしていることに気付かせる。 ちいちゃんの「家族に会えた喜びの気持ち」に焦点化する。 「きらきら」という言葉から、ちいちゃんの「家族に会えた喜びの大きさ」を読み取らせる。 <p>【読】第1場面のかげおくりと比べながら、やっ家族に会えたというちいちゃんの喜びと、最後にはちいちゃんも死んでしまったという事実を読み取り、ちいちゃんに向けて手紙を書いている。</p>

7 3 年 1 組 本 時	<p>時を経た、ちいちゃんがい ない公園の場面を書いた 作者の思いを、公園で 遊ぶ子ども達を空から見 つめるちいちゃんの気持 ちを想像して話し合うこ とを通して、戦争は多く の大切なものをうばうこ とに気付き、平和な生活 を見つめ直し大切にしま したいと捉え、「戦争」「平 和」「命」のキーワードを 使ってまとめることがで きる。</p>	<p>挿絵から、場面の様子を捉える。 学習課題をつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>楽しそうに遊んでいる子どもたちを、ちい ちゃんが青い空の上から見ていたら、どんな 気持ちかを読み取り、ちいちゃんに手紙を書 こう。</p> </div> <p>第5場面を音読し、ちいちゃんがい た時代と比べながら内容を とらえる。 第1場面から第4場面までを 振り返りながら、公園の子 どもたちに話しかけるちい ちゃんの言葉を想像して書 き、話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「作者は、ちいちゃんがい ない第5場面を、どんな 思いで書いたのだろうか。 学習のまとめをする。 ちいちゃんへの手紙を書く。」</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・第4場面と第5場面をワーク シートに整理して書き込むこ とで場面の移り変わりを捉 えるとともに、戦争の時代 と平和な今を対比して考え ることができるようにする。 ・それぞれの場面の様子やち いちゃんの気持ちを根拠に して話すことができるよう に、「話形の例を示すこと でちいちゃんの言葉を今と 比べながら書くことができ るようにする。 ・「戦争」「平和」「命」を キーワードとして手紙を書 いてまとめるようにする。 <p>【読】時を経た、ちいちゃん がい ない公園の場面を書いた作 者の思いを、公園で遊ぶこ ども達を空から見つめるち いちゃんの気持ちを想像し て話し合うことを通して、 戦争は多くの大切なもの をうばうことに気付き、平 和な生活を見つめ直し大 切にしたいと捉え、「戦争」 「平和」「命」のキーワー ドを使ってまとめようとし ている。</p>
三 8	<p>発表原稿の「はじめ」と 「おわり」の書き方を 知り、工夫して書くこと ができる。</p>	<p>これまでの学習でどんなこ とを書いたかを想起する。 学習課題をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表げんごうの「はじめ」と「おわり」 の書き方を知ろう。</p> </div> <p>書き出しの例や結びの例 を見てそれぞれの工夫につ いて話し合う。 「はじめ」と「おわり」を 書く。(下書き) 学習のまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「中」「おわり」 のワークシート(児童版)の 拡大したものを提示する。 ・既習学習で組み立てたこ とを取り上げて、「はじめ・ 中・おわり」にどんなこと を書くのか想起できるよう にする。 <p>【書】これまでの感想をも とに、「はじめ」と「おわり」 を自分なりに工夫して書 いている。</p>
9 10	<p>本文を引用や要約し、自 分の感想を明確に表現す るための言葉を選んで、「 中」を工夫して書くこと ができる。</p>	<p>「中」の書き方の例を見 て、それぞれの工夫点を見 つける。 学習課題をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>発表げんごうの「中」を工夫 して書こう。</p> </div> <p>組み立てを考えながら感 想文を書く。 書いた文を読み合う。 清書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文を引用する例、場面を 要約して述べる例、自分 の経験を挙げて書く例を 提示する。 ・文の引用は直線、場面 を要約したところは二重 線、自分の経験を入れた ところは波線を引いて分 かりやすいようにする。 ・初発の感想やこれまでの ワークシートなどを参考 にさせる。 <p>【書】これまでの感想をも とに、「中」の部分を自分 なりに工夫して書いている。</p>

<p>1 1 1 2</p>	<p>感想発表会をし、友達との考え方の違いに気づくことができる。</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>感想を聴き合って、友達の考えと自分の考えをくらべて気付いたことを伝え合おう。</p> </div> <p>グループで感想を発表し合う。 全体交流をする。 学習のまとめをする。 単元全体の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで司会、時間係、記録係を決めて行うようにする。 ・メッセージカードを準備し、友達によさについて書くようにさせる。 ・記録係の児童がグループの意見をまとめて発表できるようにする。 ・一人一人が単元全体を振り返り、よかった点と今後の努力点を自覚できるようにする。 <p>【話す・聞く】</p> <p>感想を聞き合って、友達との考え方の違いに気付いている。</p>
<p>裁量</p>	<p>全校群読発表会</p>		